

# BEYOND THE MOONSHINE

## Welcome to my room

Welcome to my room 狭いがrelax深呼吸  
発想で広げた風呂敷を畳む  
360度凡人 どこまで行ける この葛藤と共に  
like a 常盤 文 才能は後天性  
独自の世界感開く少年A 飛びkilla  
コンクリの上 傷みに耐えては裸足で駆け抜ける  
NF a.k.a akira club  
たまにsickたまにkidsでたまにluv  
酩酊中に吐いた妄言ですら  
嘘にしない為に自分を追い込んでいく  
潜在的マゾヒズム  
理屈やリスク考えていくのは後にする  
土足で失礼させるこの世界 展開  
行く先nextへと旋回

freshは将来の腐れ  
Fashion 流行り 柵 毒される  
このshit 賞味期限無し of Timeless  
labにて実験繰り返して生んだ発明

お前らじゃない 君でもない  
誰でもない 俺のみ知る  
お前らに言う 君にも言う  
どこでも言う 俺が記す

着実に俺は歩を進める  
昨日まであったaddress夜逃げ  
能動的なBrain矯正してのサクセス  
無意識的求める安定  
この欲求留まること知らず  
自ら巻いた種は自分で始末  
食欲というよりは一種の恐怖  
マインドコントロールこの脳  
ハラキリ・フォーエバー  
カラクリ仕掛け超展開  
止まってまた考えてたって待てない  
流行りのブランド 斬りかかるシザーズ  
ご愛嬌 君の迷惑な愛想  
興味付きなこの先の未来  
ROM起動する 自我が媒体  
呼び鈴鳴らせば解錠する"Natural Freaks"  
君の中に俺はいる

## jet pilot

きつとなるようにしかならないどう転んでも  
この閃きに人生をBet  
投げられた賽この際  
超最高なlife描きたいだけだな  
いっそ思うけどReady to die  
実際冗談じゃないんだぜ  
レール外れた俺に唯一の向かい風  
引潮の後は満ちるだけ  
今は最低を超えきつと上がる過程  
皆に幸あれ この止まらない街で  
何を見て何を聞いて何を得ていく  
得手不得手の先に活路  
この自由の代償にもう開くこと無い参考書  
数万分に1の確率だとしても  
寸分狂いなく道行くつもり  
まだ見たこと無い景色に皆を連れて行く  
「大丈夫俺ならイケる」だろmy man

一つに交わるSaga  
轍避け影踏むいつかのグロスター  
After Burn My Tag 見つめる空  
俺は遅咲きのSUPER HUMAN  
一つに交わるSaga  
轍避け影踏むいつかのグロスター  
After Burn My Tag 見つめる空  
俺は紛い無きSUPER HUMAN

どうせ生きるなら太く短く  
決意と共に流し込んだ黒霧島  
果てるまではせめて夢見心地でいたい  
勢い保つべく酩酊状態でFlight  
ジャグジーバスなら俺には必要ない  
笑えてればそれでいいぜ一生涯さ  
翼は大人に折られた とつくにもう  
着いてる地に千鳥足  
苦勞に苦勞 際限なく現れるハードル  
権力や暴力飛び超えて行くmy flow  
満たすまでひたすら磨くだけ  
不確定の未来変える勇気をくれるFriends  
もう迷いなく俺は掴みに行く  
守りに入るたび見失うタイミング  
邪険にしてきた普通の暮らし  
今だから憧れるが振り返らず向かう先  
I'm a jet pilot この気流はヤツらとの財産  
期待受けた分すぐに合わず採算  
まだ見たこと無い景色に皆を連れて行く  
大丈夫俺ならイケるさわかてる

一つに交わるSaga  
轍避け影踏むいつかのグロスター  
After Burn My Tag 見つめる空  
俺は遅咲きのSUPER HUMAN

周りがスマートに進んでく中  
一人泥に塗れて腹を括った  
翼が無くても飛び立つ空  
俺は紛い無きSUPER HUMAN

# BEYOND THE MOONSHINE

## just look

嘆くメロドラマ 現実がアンサー  
日々は加速していくが思い出に感謝  
いつかの葛藤 抱えたまま飛び乗る発想  
駆け巡る国体道路  
再びdive into 現実  
再起動させる全細胞のシステム  
アラームを叩くその筋のプロフェッショナル  
限界ギリのベロシティ 有象無象を消し去る  
眠たい眼を擦る平日の午後  
ネクタイ締めない 社会のハグレモノ  
浮世股にかけ走る7daysはトリガー  
見ろよ俺様のお通りだ  
ろくでもないライフにも華  
さっさと自分に嘘つく前に剥ぎな化けの皮  
気怠い夜に颯爽と参上する俺  
まるでダンスホール

just look 何を見るべきか  
人生はBitchとMarlboroとPizza  
だが煩惱を軸に展開させる  
この思考力 "徳を積む"が殺し文句  
JESUS 欲はNever die  
人生はSimmonsのベッドに愛  
それだけじゃお前のアイデンティティが泣いてる  
捨てるなよその手に握ったナイフ

俺は誰にもなれない三枚目  
グレーな職でmake money  
超最低なるくでなしの体現者  
年がら年中ダラ着のPlayer  
果ての無い道の先は未知  
苦勞が尽きないならなりたくないリッチ  
どうせやるならいっそ派手に歌舞く  
一人先いちぬける奈落のバブル  
正直になるほどに息苦しい  
なら愛なんて捨てなほら思えば鬱陶しい  
ブービートラップ掻い潜る常識人  
てめえの物差しすら他人基準  
君が思うよりも世界は広くて  
可能性の話は全て不確定  
実際 手堅く生きるより wideなview  
身につけてこの先にある怠惰を食う

## PrimeAdvance

緩くしていいぜヒール履いたプライド  
理想並べて息苦しい狩人  
流離う最中 背をさするかのような風  
答えの無い日々の中老いていく運命  
差し出がましい常識ごとframe out  
街のEgo切り抜けback to nature  
停止線のないこのオフロード  
巻くなよ罫 探してる落ち着ける居場所を  
深く吸い込んで吐き出した真実は  
目の前の負のせいで消えて無くなってパー  
lifelは一度きり死は間近  
時の流れはただ切ねえが焦らせんな  
不貞つてもこの道は果てがねえ  
大切なモノ捨ててまで何を得る  
俺には理解し難いがお互い様かbro  
何が正解かは終わる時果てなき航路  
姿勢を正し学ぶ老木  
うろ覚えの景色を思い返すrolling stone  
cheapなunchainじゃ収まりがつかず  
半端に謳う自由がこの余裕を奪う

時代が流れ着いては流れて行く  
季節が過ぎ別れ見送るボトルシップ  
lifelは寄せて返す その様は波引いた潮  
固まった砂浜にひっそりと浮かぶtips  
覚えてないネガティブな御籤  
他人の生き様から滲む現実を知る  
徐々に明るみ帯びていくように見えたが  
刹那を跨いだ途端闇が広がった  
どうやら手強いぜ人生  
心は柱 愛を握りしめる  
字足らずの感謝吐き出せば枯れる薔薇  
とうに理解してるぜこの道は茨  
ぬるい雲行き 時に取る舵  
定められた運命ってヤツに投げる匙  
君にも見てほしいんだこの景色  
手を引いて連れて行くそれは俺にとっても幸  
自由なはずだぜもっと本来は  
過去への手向け これから積む財産  
ケミカルな街からの離脱  
まだ未知の自由に俺は全て背負って今飛び立つ

# BEYOND THE MOONSHINE

## spiff

ダラけきったtimeと跨ぐ退屈  
ガラクタの日々ひっくり返してfreshを採掘  
独房のfloor4 降りcall  
つれないFriendsとアガらないlifeが相乗  
引き寄せたBad luck  
まとめ勢いのままchop&flip  
せめてものNiceなLoopを切に祈る日  
踵鳴るTimberland 静寂染みるフレーズ  
喧騒はいつになくMisty gaze  
井の中に天誅 溢れほどにある雑音  
この街のPreview  
耳を塞ぐよりかは踊りたい  
そのくだらない会話かき消すsounds like Green mile  
ふざけてるフリして街は病んでるが  
音楽とHoneyとFriendsはブレずにPriceless  
実際はスレきった内面  
雲行きを伺い 自分勝手に途方にくれる

とても言えないよ All I need  
俺にはこれくらいがちょうどいい  
でも少しだけしたい欲張り  
なればいい君のFavorite  
また何かを捨ててまで何かを得る事が  
増えて世界を見失って  
今はこのままのSpaceがFit  
終わるその時までStand by me

大事なモノほど目には見えづらい  
身勝手な悲哀の影に忍んだInside  
理解を求めて増える傷  
砕かれた心 癒やす愛  
冷めた世で受けたMedic  
まとわりついた欲は毒  
嫌な局面ほど記憶に残るが  
それ以上のniceで埋めていく  
このlifeのCapacity  
時間を跨ぐその度 色褪せるVivid  
Nostalgic feel 記憶ならDreamy  
感じ得てきたもの 見定める真実  
やっと知り得た信用  
Largeに構えて合わず弱さにピント  
俺が迫られてるカルマはSide chain  
この手にかかればイカしたGrooveに変えてやるぜ  
Daydream 覚めて現実  
やはりそこあるのは君と紙とそして鉛筆

## get better

今ソファに深く座る  
あくせく急ぐ中つかの間のLaid back  
曖昧な距離感を埋める"余裕"  
ゆるくゆらりゆれてく  
止まらない秒針 いずれ止まる足  
欲深き深層心理 求める愛  
目をつむる横切ったネガティブ  
今 そうせめて今だけはfeel  
一瞬来る多幸福感  
mindはそれだけでクラっとすぐslow down  
時計に急かされて  
生きてる事すら少し忘れてるけど徐々に今  
ふわっとなんとなくナイスな時間が来た  
俺はこのひと時に生かされてる  
君も同じ気持ちならNicest

今が永遠に続けば  
そう思えた時Feel relax  
今が永遠に続けば  
そう思える時救われるのさmy life  
深呼吸一つ 緩んでいく目の前の景色  
溜まった灰皿 あと少しのTasty  
誰にも知られやしない  
この気持ちを幸せと呼ぶのかもしれない  
不意に満たされてく心  
全て今はいらぬ 最早言葉も  
未来で思い返す過去ならこの瞬間  
そうきっと今がbetter  
上がったたり下がったり繰り返すこの日々  
思いがけない時間・場所に転がったりする  
feelin so good

# BEYOND THE MOONSHINE

## hooded

一晩中騒いだあの晩  
あの頃はよく思ってたなI'm one  
覚えてたのpuff&pass  
ヨレて食えなかったパフェ 原のガスト  
なけなしの金出し合って買った  
4世代のケミカルドラッグ  
上や下がない分 気楽になれた  
俺の居場所ならココにしか無いとさえ思えた  
転がり続けた箸 lifeは手放し  
高校も辞めた俺に宛ては無し  
クラスのマドンナならどうとか今更さ  
どうするわけでもないのに  
思い返して見返してたアルバム  
言葉にしなくても俺らならきっとわかるはず  
jobが終わればCall  
根拠も無いのにFreeだったあの夜

あの日聞いたClassic  
今はもう響かない  
繋ぎ止めるLeft&RightとBright  
同じようなRoutine  
今言えばキリがないほどに  
してきた後悔とFun crime

緑色の頭してた原の恥  
あの頃のマイブームX-Large  
不良気分タバコ・酒  
キャリーバッグの奥 包み込んだパケ  
皆で画鋏で空けたピアスホール  
チャリ漕いでビビリながら行ったヘッドショップ  
どれもこれも未だ色褪せぬ残像  
ろくでなしなりにも見えていた明日を  
勘繰りながらも歩いた国道202  
暗い夜と街頭 風に打たれてた歩道橋  
いつものようにただ思いがけない事で  
笑けたいだけなのに今日  
忙殺されてあの日の続き見失った模様  
朝が来ればまたJob  
何も思い出せないまま  
この先してくのか妥協

## another time

Ready to go 俺を止めるもの  
見れば沢山あるけどまっ置いていこう  
きっと足踏みしてるよりはよっぽどマシ  
オイル切れのライター使い捨てて  
今日もこの街で生きる意味探す旅  
My diary一人きりの日は  
書かないが埋まっていく文字  
別に今更話なんて無いが  
ただ楽しくやりてえないつもみたいになさ  
いつからか演じる事を辞め  
自分に素直になれた時 簡単に止んだ雨  
立てないくらいに落ち込んだ日々が  
今になって懐かしく思えたりするが  
それは何故とか言っ  
答えを知った上で白を切るのは  
お前とする昔の話が面白いからさ  
日々知らずとも薄れてくこの若さ

この場から離脱して  
目の前にある不安を背に  
くだらねえといつも一人きり  
吐き捨てた他人のせい  
振り切りかけ美化された過去に掴まれ  
今も前に歩く度 愛を憂う

Ready to go 俺を止めるもの  
いや本当は止めて欲しかっただけなのかも  
もしこんな道選んでなければ  
今頃 社会の一端で何を思うって  
そんな事考えるだけ時間が勿体無いな  
wassup my man 今日調子良く行こうぜ  
ほら行くってでも何処へ いい加減飽きてね？  
次の楽しい事もそう簡単にはねえ  
絡まり解けなくなったRoutine  
何をするにも気がつけば経験済み  
別に今更話なんてねーが  
ただ離れちまうくらいならクソ喰らえだ  
きっと今だけさ俺らが若い内は  
なのに何故襲う 怠惰やマンネリは  
どこを探しても無いが求めた安定感  
先の別ればかす現実逃避ってだけ

Ready to go 俺を止めるもの  
きっとこの先は減り一人孤独なRoad  
未だ in my hood 摩擦熱生む速度毎分  
哀愁が写る Slideする年月のblues  
愛するあいつを守ることすらも許されない  
クソツタレな現実だとしても  
flowすりゃ俺は飛べる気がしてた  
いや気がしてる 勿論今だって  
そんな気休めじゃ納得出来やしない歳になってさ  
ふっと我に返ったろくでなしには  
幸せになる権利なんてないのかも  
だけど描いてる明るい未来 こんな俺でさえ  
ここにずっとは留められない  
だって俺もお前もこのままじゃ終われない  
先で再開する日がもしあるなら  
出来れば昔のままでもまた笑えたら

# BEYOND THE MOONSHINE

## Dream boy

何を見極めるその目で先入観に追われ失う己  
lifeはドラマ繋ぐ夜間飛行 玩具は言霊  
Propsやmoneyもいるがでもそれ以上に  
求めたいのはArt 抜く度肝  
普通に得るべき幸せchop&flip  
違う幸せを作りに行く  
justice in my flow 警告のクラクション  
Coolな風 乗せる俺のPassion  
当たり前にある怠惰が  
俺や君を示すKey 要は使い方  
噂話より早く走り抜ける街  
話は一個人ミクロレベル  
大人の目盗み 一人静かに  
すり抜け窓から抜け出す家

夢を見る君はまるで太巻きのWeed  
でもそんなDrugよりトべるこの宇宙の真理  
欲抜け出し大義成すまで  
置くMathematics 計算高さ斬る感性  
避けられない柵を避けて  
宙に舞うStarlight Freeに踊るBebop  
振り切る浮世の先に待つ  
それは後悔かもしくは究極のMaster arts  
怖気づく間も無くイカれきる  
まるで絵に書いた覚醒 Dream boy  
夢か君選ばなければいけなくなる時まで  
超えたいのさターニングポイント  
夜に星を撒く俺はピーターパン  
ウェンディも連れて行くNever land  
事実は小説より不可思議  
それぞれにあるこのファンタジーの形

## aimai

時として不安事に慌てふためいたり  
それとなく冷静を装ってみたり  
さりげない態度で不満を示してみたり  
自分のこと中心で一体何がしたい  
それぞれの立場保つべき体裁に追われ  
落ち着く暇もないDay and night  
生温い空気に詰まりだす息  
実はこじつけの生きる意味  
繋がらずも仮初に思えて  
何も信じれないが理想だけ求めてる  
勝手に期待した俺が悪かったとか  
思いもしない言葉で自分を押しさえ込んだ  
誰も傷つけたくない  
綺麗事のその実 誰にも傷つけられたくない  
理不尽が襲い弱るメンタリティ  
無意識の内に下向きがちな日々

触れて 溢れて こぼれ落ちていく今日を溶かして  
せめて 憂いて 救い上げる理想

時流に乗り俺達は行く未来  
この激動の一時超えどどうせ落ち着かない  
時に折れそうになり揺らいだ大志  
生き様を自己否定しては不毛なBad trip  
身からこぼれ落ちる錆  
愛憎 一人静かに落としこむ白紙  
発芽して焦ったところで遅い悩み  
過去の過ちよりもこの先 どこにある幸  
正解がない分間違えもない選択肢  
ぼんやりと煙の行く先眺め  
思い耽る My life あの日々と街  
永遠よりfeelしたい今  
下を見るばかりじゃ君の表情も見えない  
邪念が生んだIf ありもしないネガティブに落ちる  
弱さ身に染みる

自己中心的な喜怒哀楽  
一癖ある故に大人になり損なう  
この悲しみが怒りに変わる前に知りたい喜び  
生きる意味 その動機  
見せかけの光の中闇がある内は  
とても綺麗なふりなんて出来ない  
きっと誰かを愛するという事  
それは誰かを恨む時がいずれ来るという事  
100の気遣い見返りは50  
でも次また100出せれば恐らく良い奴  
自惚れてるよきつと愛されるはず  
エゴを侮り肥えた結果自堕落  
ずっと逃げてた今の俺の守れるモノ  
また逃げて失ってしまいたくない  
これが独り善がりならそれでもいい  
自己愛を知って愛に生きる

# BEYOND THE MOONSHINE

## receptivity

この寂しさ埋めるため人を利用する  
エゴを小脇に抱え座る一人用の椅子  
慰めを乞うて我を忘れてく道化  
大人になりきれない大きな少年  
イかれてる社会不適合者  
隣人に挨拶も出来ないような後ろめたさ抱えてる  
日々の重さ 硬い紐解いてもそこに無い勝算  
クローズアップ現代 擦れたアイデンティティ  
クローン化と共に単調に思える日々  
街で流行りの玩具 次から次 半端に満たされ  
飼い殺されていった罪綴り懺悔したフリ  
してみた所 窓から見える薄汚れた月  
灰色の空 at AM 探しても無い永遠

伸び切れない羽 ふてくされ病みだす  
揺れているmy space 定まらずに疼きだす  
この波に逆らって孤独にはみ出す  
揺れているmy space 定まらずに疼きだす

腹の中損得で測る人間関係 査定  
皮肉にも上手くやれてるよ皆  
何故?ってまあそりゃそうなるか実際  
澄ました顔が唱える隣人愛  
脳内 無数の邪念が俺を戒める  
腹黒さと優しさの匙加減  
価値観は壁 その立場立て  
喜怒哀楽 大袈裟に分かち合いてえ  
自分が一番可愛いと思うのに  
自分の為だけじゃつまらないと知る  
そんな瞬間に過去想い消えなくなり  
同時に何故か感じてる 生きてる味  
未来の自分への約束認める  
この感覚忘れないようにする それが役目  
寂しさ埋めるため人を利用する  
それも知る上で俺は君を受け入れたらいいと思う

## Natural

どこかに浮かんでるはずのCloud9  
空を見る時間も無く立つFront line  
煙が上がれば 零れていく無情の灰  
心の煤 情で洗い合い  
それを慣れ合いと呼ぶには俺にはおこがましい  
震える手 刺す木枯らし  
勘繰りの境地立つ目の前の砂嵐  
俺が追い求めてる愛はきつとまやかし  
今発 過去行き各停 過ぎ去るMemory Lane  
姿消えるまで見送るよ手を振って  
未来から見たここはゼロ地点  
幸い隣には君がいてくれる  
朝が来ない窓辺探しに行く  
止みそうもない雨の門出  
軽くした荷物 置いてくよ傘も  
代わりに与えてくれないかこの手にその体温

Natural 変わらない為に  
変わらなきゃならない時に悔いる行く道  
the Answer 何を目の前にしても  
全てありのまま受け入れる力が欲しい

季節が変わり 町並み変わり  
friendsが変わり 俺は何処に  
深く魅入られた真実の形  
未だ見えずにこれで何度目の朝日  
繰り返した哲学の中手付かずのまま  
既に錆びきった選択肢  
見渡せる限りの景色の遥か先  
ただひとつ変わらない自分自身を切に橋渡し  
上辺をなぞる親切に意味はなく  
非情な世に空蝉がなく  
目にこびり付いてる  
机上の空論を洗い流した正直者の喜怒哀楽  
冷えた体を暖めるの為の肌越しの熱が愛くしむ  
いつしか止んでいた雨を  
固まった地踏みしめる裸足  
一人きりでは知れなかったこの幸